

私のすすめるこの1冊

谷口 匡 (国文学科 教授)

『一海知義の漢詩道場』

一海知義 (編)

2月の初旬、『故一海知義先生お別れの会詳録』という冊子が届いた。昨年逝去した元神戸大学教授・一海知義いっかいともよしの「お別れの会」で語られた思い出を収録したものである。

一海は、吉川幸次郎や白川静とともに、高校時代から名前を知っていた数少ない中国文学者である。『漢語の知識』はその頃買った著書。さらに『漢詩入門』『陶淵明一虚構の詩人一』『中国古典選 史記』などには、折に触れお世話になってきた。みな読むたびに啓発される名著である。ただ私の関心はこれまで著書にあり、著者に深く思いを致したことはなかった。

『詳録』を読むと、豊かな学殖を独特なユーモアでまとった故人の人となり伝わってくる。今、そうした一海の魅力が最も端的に窺える1冊として、『一海知義の漢詩道場』を紹介したい。

本書は一海の神戸大退職後に始まった読書会の記録で、一海はその編者である。会は宋代の詩人陸游りくゆうの漢詩を読むので「読游会」と称し、一海自作の歌に「僧侶教諭学生院生老教授中年の主婦読游の会」(「読游会雑詠」)とあるごとく、研究者に限定されない広がりを持ち、20年以上にわたりほぼ月1回のペースで、死の直前まで200回以上続いた。

本書では「読游会」で読まれた陸詩から21首をとりあげ、担当者による最初の解釈が一海らとの問答を経て変わってゆく様子を、臨場感たっぷりに記録する。とりわけそこで示される一海の言葉が印象的だ。

その中には「なんべん離婚しても新婚は新婚、初婚とはちがう。新寒は寒さホヤホヤ、あつ寒いな、と初めて感じるとき」(105頁)のような字義の講釈もあれば、「想像や直感は大事や。でも想像や直感だけで解釈したらあかん。根拠も挙げんと駄目だ」(99頁)、「辞書の用例をそのまま引っ張ってきよったな。……陸游の詩を読むときは、陸游の他の用例が一番大事やぞ。『陸詩をして陸詩を語らしめよ』や」(174頁)のように研究法に及ぶ指南も見える。

読解の最後には「半解漫語」と題した一海の総括がなされる。「半解」は一海知義をもじった「一知半解」にちなむ号。「大酒が飲めれば中国文学がわかる、というわけではない。……必要なのは酒量ではなくて、想像力である」(100頁)など、ここにもユーモアに富む教えがある。

こうした「読游会」の記録以外に、「七つのハードルー漢詩を読むコツ」「半解先生の『漢詩道場』」「教え魔半解先生」といった一海や参加者によるコラムも興味深い。漢詩を離れて稀有な教師としての一海の人間像に触れるだけでも、一読の価値が存しよう。

本書には続編もある(『統一海知義の漢詩道場』)。また一海の文章はどんな短いものでも発見が含まれ、かりそめに書かれていない。その醍醐味は、上掲書や『一海知義著作集』(全11巻)について見られたい。私自身は目下、「積ん読」のまま埃をかぶっていた『河上肇詩注』を繙いている。いささか遅かった「道場」への入門だが、改めて著者に学び直したいと考えている。

あなたはどのタイプ？ 図書館の学習スペース案内！

図書館にはいろいろなタイプの学習スペースがあります。自分の学習スタイルやその時の気分で、お気に入りの場所を見つけてね♪

リラックスしながら勉強したいなら…

南館 1 階

新聞、雑誌、小説に絵本などがある南館 1 階では、周りの人もリラックスモード？勉強の合間に息抜きしやすいスペースです。



本や辞典をすぐに調べたいなら…

西館・南館 2 階

学習・研究用の本や教科書などがある西館と南館の 2 階は閲覧席が最も多く、図書館資料を使った勉強などに便利です。



友達と一緒に勉強したいなら…

北館 2 階

ラーニングcommons、グループ学習室、研修セミナー室がある北館 2 階は、話し合いながら勉強できるスペースです。わからないところを友達と確認したりしながら勉強しよう！



4月から、研修セミナー室 2・3 を常時開放しています！空いている時は自由に使用して、予約することもできます。
(利用希望日の前日までに申込)

静かに集中したいなら…

西館 3 階・4 階

西館 3 階・4 階は書庫になっていて、静かに勉強することができます。3 階には申込制の研究個室、4 階には自由利用の個人学習室があり、実は空調の効きがよい穴場スポットでもあるのです。



研究個室（申込制）

まだまだあります、おすすめスポット！

眺めがいいのは？

西館 3 階・中庭側の閲覧席

メインストリートに面する建物の西側には太陽光パネルが取り付けられており、窓からはあまり外が見えませんが、中庭に面した東側は開放的な雰囲気、密かな人気スポットなのです！

座り心地がいいのは？

北館 2 階ラーニングcommons・ソファ席

ふかふかのソファでファミレスのような気分！でも、ベッドではないので横になったの睡眠はご遠慮くださいね…？

おなかがいっぱいなら？

1 階リフレッシュラウンジ

館内では原則として飲食禁止です。一部エリアではふた付き容器の飲み物（ペットボトルや水筒など）を飲めますが、食べ物には不可です。おなかがいっぱいなら、1 階リフレッシュラウンジでエネルギーを補給しましょう。

図書館員のつぶやき (15)

～ホワイトボードはあなどれない～

近年のディズニー人気映画、『アナと雪の女王』と『ベイマックス』の DVD が図書館に入りました。実はこれ、2015 年のリフレッシュラウンジでのホワイトボード企画、「好きな映画はなんですか？」で複数票を集めた映画だったんです。貸出もできますが、ぜひ新調した AV ブースもご利用くださいね！

リクエストと投票で話題の本を読もう！

近年は、「特別リクエストウィーク」「特別選書」などの名称で、冊数・目的・金額一切制限なしのリクエストを募集するなど、学生さんの「こんな本が読みたい！」にできる限りお応えしてきました。

今年も、リクエストと図書館職員が選んだ話題書の中から、皆さまからの投票により購入する図書を決定します！

- (1) リクエストは常時受付します。(学内者のみ)
- (2) リクエストのあった話題書や小説などの娯楽向け図書や、図書館職員が選んだ本などを館内に掲示し、毎月一定期間の投票で、得票数の多いものから購入します。

5月の投票期間は

5月2日(月)～5月23日(月)です。

図書館1階渡り廊下に掲示しています。

読みたい本に投票しよう！(1日1ポイントまで)

佐藤学氏コーナー

『教師花伝書：専門家として成長するために』(小学館)などの著書で知られる教育学者・佐藤学氏の著書を集めたコーナーを設置します。

【場所】1階渡り廊下

【期間】5月16日(月)～6月17日(金)

えほんのもり (場所：児童書コーナー)

今月の読み聞かせ会は、

5月16日(月) 15:00～ です。

今月の絵本カードは
こちら！



『**ぴーちゃん
くもとぶ**』
松井 紀子：作・絵

★あらすじ★

にじいろのかさをひろげてそらをとぶ ぴーちゃん。いっけんの いえをみつけると、そこには くろいえのぐが ありました。えのぐであそんでいるうちに ぴーちゃんはまっくろ！
どうしたら、まっしろな ぴーちゃんに もどれるかな？

※絵本カードは幼児教育科の学生が作成しています。このほかにも毎月かわいいカードが飾られていますので、ぜひ児童書コーナーに見に来てください。

図書館講習会のお知らせ

第3弾

図書館資料探索入門～これで必要な本は見つかる！～

図書館の各種資料の探し方をご案内。図書・雑誌・閉架資料など検索したけどどこにあるかわからなかった、という人や、これから図書館を使おうかな、という人におすすめです。

【開催日時】

5月9日(月)～11日(水) 12:00～12:30

5月12日(木)～13日(金) 16:15～16:45

第4弾

論文検索概論 ～論文の資料集めをしよう！～

卒論・修論の資料集めを始める皆さんにおすすめです。国内論文の探し方、他大学資料の取り寄せなど、論文入手の方法を説明します。

【開催日時】

≪30分コース(説明のみ)≫

5月17日(火)～19日(木) 12:00～12:30

≪60分コース(実習つき)≫

5月16日(月)、17日(火)、20日(金) 16:15～16:45

【申込方法】

氏名・専攻・日時を明記の上、library@kyokyo-u.ac.jpまでご連絡ください。当日参加の場合は開始時間の5分前までにカウンターにお申し込みください。

5月もあります！学修相談カウンター

理数系の院生がいろいろな質問に対応してくれます。勉強や就職のこと、先輩に相談してみませんか？

【場所】北館2階ラーニング commons

【時間】16:00～20:00の該当する時間

※4月～5月にかけての年度初めは、不定期実施となります。実施日時は、図書館ホームページやラーニング commonsなど図書館の掲示でお知らせしますので、最新情報を確認してください。

気軽に
相談してくださいね！



教育資料館 まなびの森ミュージアム

今月の逸品「茶摘女」

詳しくはホームページの「今月の逸品」コーナーをご覧ください。展示をしていますので、ぜひミュージアムへ来てください！



詳しくは…教育資料館 まなびの森ミュージアム
<http://manabinomori.kyokyo-u.ac.jp/manabinomori.html>

今回の執筆者 **小泉 隆平**(元 大学院連合教職実践研究科 准教授)
(現 近畿大学総合社会学部 教授)

効果的な「別室登校」児童生徒支援に関する一考察 —教職員間の情報共有を巡って—

小泉 隆平・中垣 ますみ・中川 靖彦・由良 渉・奥澤 嘉久・吉田 晴美

京都教育大学紀要. 2015, No.127, pp. 133-142

みなさんは、登校しても教室に入れない児童生徒がいることに気づいていますか。不登校傾向の児童生徒が学校に登校している間、定められた通常の教育活動から離れて、相談室や保健室などの校内の別室で、個別もしくは小集団で活動している状態を「別室登校」と呼ぶことがあります。こうした児童生徒に教職員が近づいて時間をとって直接的にコミュニケーションをするのが教室復帰に効果的であることがわかっています。

そこで、本研究では、教職員の負担感を高めない効果的な「別室登校」指導のあり方を明らかにしようとしてきました。「別室登校」児童生徒への指導に関わる教職員間の情報共有が「別室登校」児童生徒支援に効果的であるという仮説を立て、それを検証しました。

その結果、教職員間の情報共有が教職員の負担感の軽減に効果的であるという仮説が検証されました。それだけではなく、直接「別室」に関わらない教職員も「寄り添うコミュニケーション」で「別室登校」児童生徒に関わり、他の教職員と情報共有することが教職員の主体的な取り組みを促進することもわかりました。さらに、「別室登校」児童生徒とのコミュニケーションから生まれてくる見立てが「別室」指導への理解を深めることや、校外資源の活用を導入する環境をつくること「別室」に関わる教職員の負担感を軽減することもわかりました。

こうした研究成果は、学校教育のなかでの個別支援のあり方を考える上で示唆を与えるものであると考えています。みなさんも学校現場をフィールドとするとき、登校していても教室に入れない児童生徒にも気を配り、教職員がどのように支援しているのか感じとることで、将来の教育実践を深めることができると期待しています。具体的な内容については、是非本研究や関連論文を検索して読んでみてください。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 127 号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<http://ir.kyokyo-u.ac.jp/dspace/>にも公開されています。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2016年5月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2016年6月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

6/1 創立記念日

●京都教育大学附属図書館ホームページ
<http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/>



●携帯版図書館ホームページ (QRコード) <http://tosh02.kyokyo-u.ac.jp/webopac/mobtopmnu.do>

京教図書館 News No.188(2016年5月号)
発行日:平成28年5月2日
編集発行:京都教育大学附属図書館
問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp